

決算説明資料

2019年3月期 第1四半期

代表取締役社長 佐野 勝大

2018年8月14日

© 2018 Ubiquitous AI Corporation. All rights reserved.

This presentation is for informational purposes only. Ubiquitous AI Corporation makes no warranties, express or implied, in this summary.



Index

- 第 1 四半期業績の概要
- セグメント及び製品分野別動向と取り組み
- トピックス

第1四半期 業績の概要

第1四半期（累計期間）の概況

■業績

- 概ね計画通りに進捗
- 売上高 連結：508百万円（前期比7.1%減） 個別：151百万円（前期比10.7%減）
- 営業損失 連結：28百万円 個別：14百万円

■セグメント別概況

- コネクティビティ事業：受注済みの受託開発案件による収益、既存顧客等からのロイヤルティ売上獲得
- 組込みソフトウェア事業：車載機器を中心とした既存顧客からのロイヤルティ売上獲得
- ソフトウェアディストリビューション事業：既存顧客のライセンスを中心に概ね計画通り進捗
- ソフトウェアサービス事業：コンテンツライセンスが堅調、概ね計画通り進捗

連結損益計算書

単位：百万円

	前年同期	2019/3期 (第1四半期)	増減
売上高	547	508	△38
売上原価	290	258	△32
売上総利益	256	250	△6
販管費	321	278	△42
営業利益	△64	△28	36
営業外損益	1	1	-
経常利益	△62	△26	35
特別損益	-	△0	-
法人税等	19	9	△10
四半期純利益	△83	△36	46

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

連結貸借対照表（資産の部）

単位：百万円

	2018/3月末	2018/6月末	増減
現金・預金	954	1,048	93
受取手形・売掛金	685	473	△212
有価証券	400	400	-
棚卸資産	14	50	36
前払費用	60	66	6
その他流動資産	48	84	36
流動資産	2,163	2,123	△40
子会社株式	-	-	-
のれん	736	684	△52
その他固定資産	383	292	△91
固定資産	1,120	976	△143
資産合計	3,284	3,100	△183

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

単位：百万円

	2018/3月末	2018/6月末	増減
買掛金	185	121	△64
未払金	74	41	△33
前受金	100	109	8
その他流動負債	172	94	△77
流動負債	533	366	△167
固定負債	101	92	△9
資本金	1,470	1,480	9
資本剰余金	1,440	1,450	9
利益剰余金	△300	△337	△36
その他純資産	37	47	10
純資産	2,648	2,642	△6
負債・純資産合計	3,284	3,100	△183

通期業績予想（連結）に対する進捗

単位：百万円

	通期 業績予想	第1四半期 実績	進捗率（%）
売上高	2,427	508	21.0
営業利益	4	△28	—
経常利益	19	△26	—
純利益	△28	△36	—

セグメント及び製品分野別 動向と取り組み

セグメント変更について

■ 当第1四半期より、以下のセグメントの変更を実施

- 「コネクティビティ事業」をセキュリティ関連ソフトウェア製品に関する活動領域を広げることに伴い「コネクティビティ & セキュリティ事業」にセグメント名を変更

<旧セグメント>

セグメント	分野
コネクティビティ事業	
組み込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連
ソフトウェアディストリビューション事業	
ソフトウェアサービス事業	



<新セグメント>

セグメント	分野
コネクティビティ&セキュリティ事業	
組み込みソフトウェア事業	データベース関連
	高速起動関連
ソフトウェアディストリビューション事業	
ソフトウェアサービス事業	

セグメント及び製品分野別の売上高進捗

単位：百万円

セグメント	分野	前年同期 (連結)	2019/3期 第1四半期 (連結)	増減率
コネクティビティ&セキュリティ事業		95	61	△35.5%
組込みソフトウェア 事業	デ ー タ ベ ー ス	28	35	21.1%
	高 速 起 動	45	55	20.8%
	小 計	74	90	20.9%
ソフトウェア ディストリビューション事業		289	258	△10.8%
ソフトウェア サービス事業		87	98	12.3%
合計		547	508	△7.1%

セグメント別売上及び利益

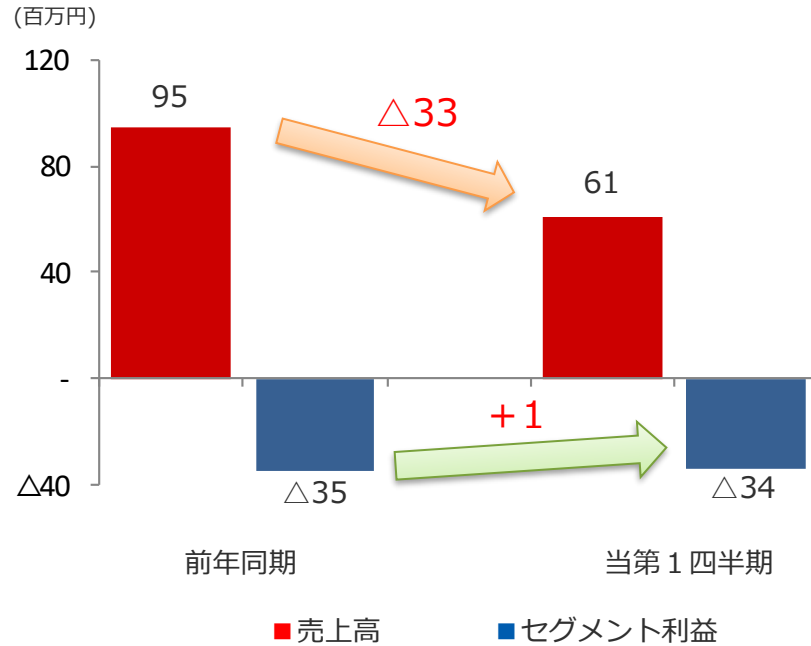
単位：百万円

		前 年 同 期 (連 結)	2019/3期 第1四半期 (連 結)	増 減 額
コネクティビティ & セキュリティ事業	売 上 高	95	61	△33
	セ グ メ ン ト 利 益	△35	△34	1
組込みソフトウェア 事業	売 上 高	74	90	15
	セ グ メ ン ト 利 益	3	19	15
ソフトウェア ディストリビューション 事業	売 上 高	289	258	△31
	セ グ メ ン ト 利 益	※120	※1△22	△2
ソフトウェアサービス 事業	売 上 高	87	98	10
	セ グ メ ン ト 利 益	※2△10	※2△8	△1

※1 株式会社エーアイコーポレーションの株式取得に関して生じたのれんの償却額 26百万円を含めております。

※2 株式会社エイムの株式取得に関して生じたのれんの償却額25百万円を含めております。

コネクティビティ&セキュリティ事業

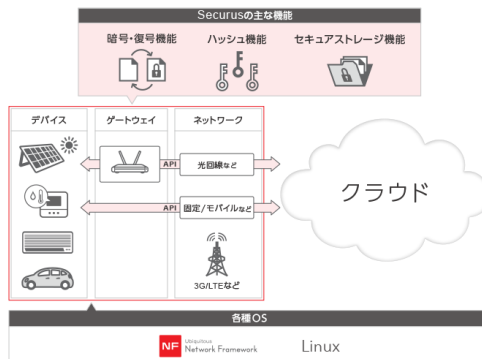


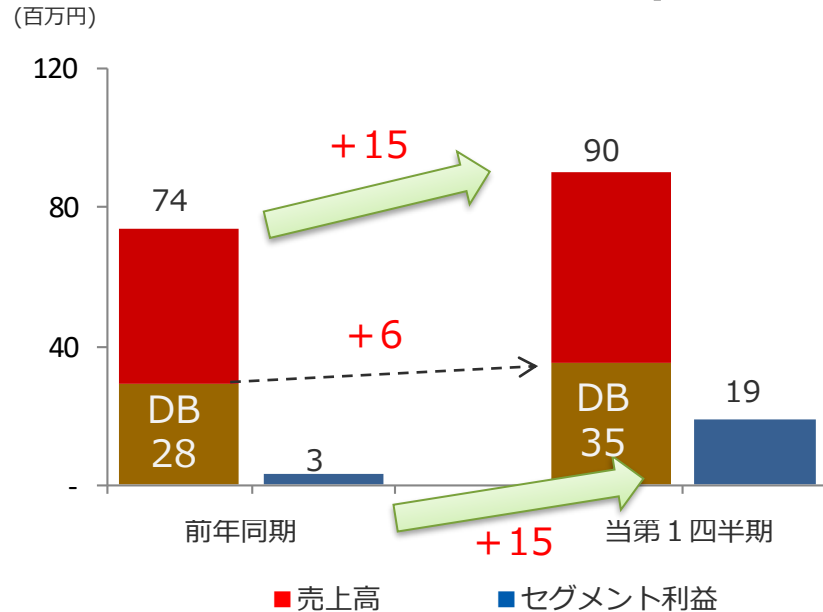
■ 当四半期概況

- スマートエネルギー（電力/ガス）関連案件で「Ubiquitous Network Framework」に関する受託開発等の収益を獲得
- 車載機器案件で「Ubiquitous Securus」に関する契約時一時金売上を計上
- 既存顧客との案件で「Ubiquitous USB Host」「Ubiquitous DTCP-IP」の受託開発売上を計上

■ 取組方向性

- 車載機器、産業/OA機器などのIoT向けセキュリティ製品のソリューション提供、販売を強化
- エーアイコーポレーション社（7/1以降：ディストリビューション事業）の取扱い製品、パートナーとの開発連携によるネットワーク、セキュリティを中心とした製品ラインナップの強化・充実
- 半導体/半導体部品メーカー、販社との連携強化、ソリューション提供による拡販展開



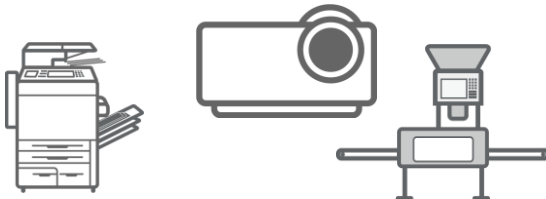


当四半期概況

- ー 車載機器、産業機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上

取組方向性

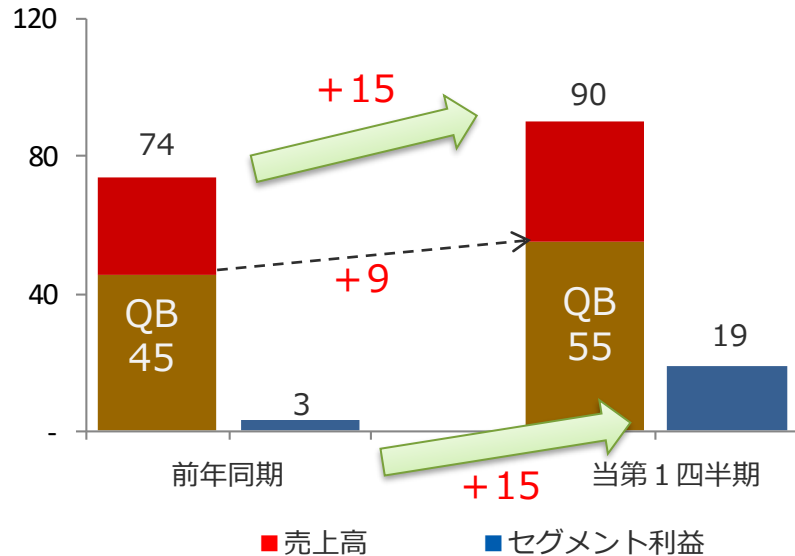
- ー 既存顧客のサポートによる安定収益の確保
- ー 車載機器、OA機器、検査機器、産業機器などに向けた拡販



※グラフは組込みソフトウェア事業全体の売上・利益と、データベース関連のみの売上となります。

組込みソフトウェア事業 高速起動関連

(百万円)



■ 当四半期概況

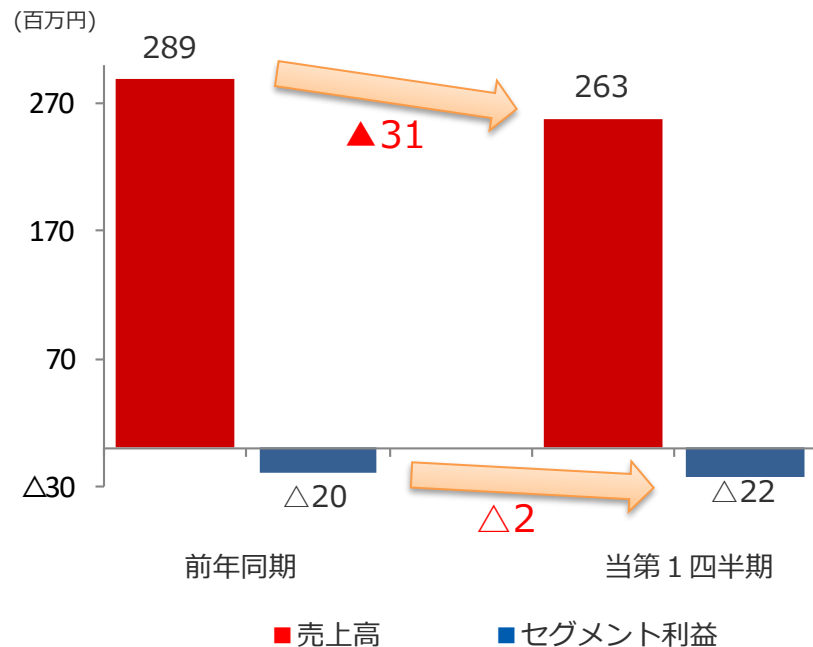
- 車載機器の既存顧客からのロイヤルティ売上を計上
- カーナビゲーションシステム等車載向けの端末を中心に、複数社との間で大・中規模案件の研究開発、及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続
- 車載機器向けに加えて一般消費者への電子機器向けの評価や一部量産製品からのロイヤルティを獲得、海外顧客案件対応も進行中

■ 取組方向性

- インテル社のx86アーキテクチャベースのCPU Atomプロセッサに対応、組込み向けCPUでシェアの高い2つのアーキテクチャ対応で更なる拡販を目指す
- 海外顧客向けのアプローチ強化を模索

※グラフは組込みソフトウェア事業全体の売上・利益と、高速起動関連のみの売上となります。

ソフトウェア ディストリビューション事業

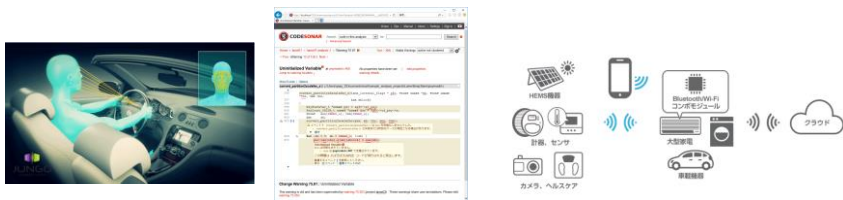


■ 当四半期概況

- ワイヤレス製品：車載機器を中心に「Blue SDK」*1のロイヤルティ売上、受託開発売上等を計上
- BIOS製品：OA/FA機器を中心に「Insyde H2O」*2ロイヤルティ売上、受託開発売上等を計上
- 品質向上支援ツール製品：車載機器、医療機器を中心に「CodeSonar」*3やECU関連開発ツールなど、既存顧客からのリピートを含めた年間ライセンス及びサポート売上を計上
- 「CoDriver」*4の引き合いが好調、契約時一時金等の売上を計上
- その他、オンデバイスネットワーク機器管理用ソフトウェアなど多数の取扱い製品より、新規、既存顧客からのロイヤルティ売上等を計上

■ 取組方向性

- 多数の取扱製品と海外パートナーを活用し、ユビキタス事業（7/1以降：製品開発系事業）とのシナジー創出施策を実施
- 年間利用ライセンス契約により収益安定貢献の高いソフトウェア品質向上支援等のツール製品を重点的に販売促進

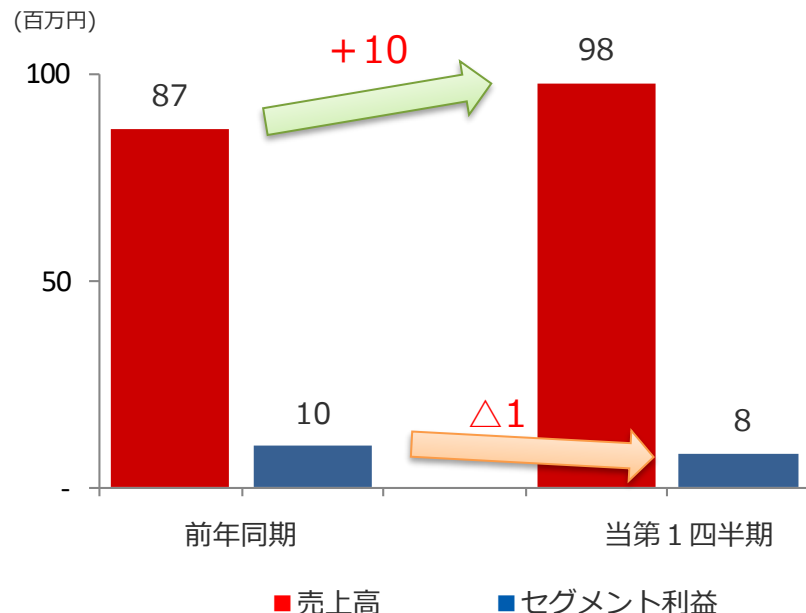


*1 BlueSDK: Bluetoothプロトコルスタック

*2 Insyde H2O: 「EFI/UEFI」仕様を実装したC言語ベースBIOS

*3 CodeSonar: ソフトウェアの動作不具合、脆弱性をソースコードのコンパイル時に静的解析し、バグを検出するツール

*4 CoDriver: ドライバーモニタリングシステム



■ 当四半期概況

- 既存顧客との各種受託開発売上を計上
- 車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上

■ 取組方向性

- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的な確保と、協業提案による新たな取り組み
- 既存顧客・パートナー案件に加え、グループ各社の製品・顧客関連のエンジニアリングサービス案件を軸に、グループ全体での売上シナジー実現



YOMIデータの活用例：アーティスト名ソート

アーティスト表記	YOMI
さだまさし	サタマサシ
サザンオールスターズ	サザンオールスターズ
L'Arc-en-Ciel	ラルクアンシエル
松任谷由実	マツトウユミ

アーティスト表記でソート		YOMIでソート	
ソート順位	アーティスト表記	ソート順位	YOMI
1	L'Arc-en-Ciel	1	サザンオールスターズ
2	サザンオールスターズ	2	さだまさし
3	さだまさし	3	松任谷由実
4	松任谷由実	4	L'Arc-en-Ciel

トピックス

合併及び新社名について

2018年7月1日 ユビキタス、エーアイコーポレーションを合併
株式会社ユビキタスAIコーポレーション



Ubiquitous AI Corporation

Connecting the Future

テクノロジーを通じて

「お客様」、「社会」、「社員」の、未来をつなぐ

Ubiquitous AI Corporation (UAC)

www.ubiquitous-ai.com

会社・事業運営のシナジー最大化

- ・ 販売力強化（営業活動効率化、製品組み合わせ）
- ・ 開発部門一体化による開発加速
- ・ 製品シナジー加速（共同開発、ソリューション化、製品企画力強化）
- ・ 統合によるコストの最適化

オンリーワン企業の実現

- ・ 自社製品の企画・開発力と海外製品の調達力を同時に持ち合わせたオンリーワンの組込みソフトウェア企業を実現
- ・ 新たな価値を生み出す技術企業へ

「セキュアIoT機器開発キット」発売

■ 外部からの攻撃に強いハードウェアセキュリティ機能を搭載したマイコン（MCU）との連携による、セキュアなIoT機器開発を実現するセキュリティソリューション

- ルネサス エレクトロニクス株式会社の32ビットマイコン（以下「MCU」）RX65Nに搭載の強固なセキュリティ機能を実現するTrusted Secure IPに対応し、同MCU向けのセキュアIoT機器開発キットとして製品化、2018年5月31日に発売開始
- MCUの安全な領域において管理、暗号処理などの機能をソフトウェアで提供、クラウドサービスの機器認証や、インターネットの暗号化通信など、セキュアIoT機器開発に必要な鍵情報、電子証明書などの重要情報を安全に秘匿処理するための機能を実現
- 2018年5月のIoT/M2M展で、クラウドサービスとAIスピーカーによるセキュアなホームコントロールデモを実施



2018年5月31日発売

セキュアIoT機器開発キット for RX65N

ハードウェアベースのセキュリティ機能「Trusted Secure IP」に対応

Trusted Secure IPを用いてセキュリティ課題を解決

TLS処理の秘匿化

認証情報の完全性確保

セキュアアップデート
セキュアブート

IoT機器では、利用するたびにパスワードを手入力したり、セキュリティ通信に必要な証明書や鍵情報を個別にダウンロードすることが難しいため、これらの重要情報をIoT機器自体に保存しておく必要があります。また、ハッキングなどの悪意のある攻撃による情報漏洩を防ぐために、強固なセキュリティによる重要情報の秘匿化が求められます。

ルネサス エレクトロニクスのRX65Nは、MCU内部に外部からの攻撃に強いハードウェアセキュリティ層によって、暗号化エンジンと暗号鍵を硬質に格納し、より安全な運用を実現するTrusted Secure IPを搭載しています。これを利用して、安全なハードウェア領域で暗号鍵を管理したり、安全性が保証された暗号化を行うことで、クラウドサービスの機器認証や、インターネットの暗号化通信などをよりセキュアに実現できるようになります。

Trusted Secure IPに対応した『セキュアIoT機器開発キット for RX65N』

Trusted Secure IPによる強固なセキュリティ機能を持つルネサス エレクトロニクス RX65Nファミリ。このRX65Nに対応したUbiquitous Network Framework SDKとUbiquitous TLSを中心に構成された、IoT機器上でのセキュアな通信機能の実装を支援するソリューションキット

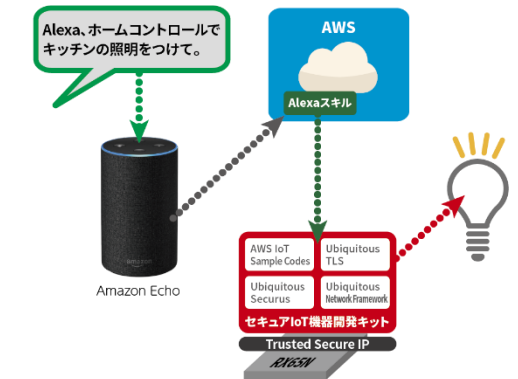
キット構成内容	価格
RX65N向けUbiquitous Network Framework SDK Ubiquitous TLS RX65N向けUbiquitous Securus AWS IoT接続用サンプルコード	評価用ライセンス：15万円（税込） （30日間のメールによる技術サポートを含む） 量産用開発時ライセンス：お問い合わせください。

対応開発ボード
ルネサス エレクトロニクス社製
「Renesas Starter Kit+ for RX65N-2MB (Trusted Secure IP搭載)」

対応開発環境
IARシステムズ社 統合開発環境「IAR Embedded Workbench」
ルネサス エレクトロニクス社 統合開発環境「e2 studio」

『セキュアIoT機器開発キット』を用いたAWS IoT・ホームコントロール連携デモ

音声による機器制御の実装を短期間で実現！



デバイス側の実装に必要なAWS IoT連携機能や、AWS上でのAlexaスキルの実装のためのAWS Lambda用コードを含んだ実践的なサンプルコードを提供。

ハードウェアベースのセキュリティ技術のTrusted Secure IPを利用したTLS実装により、デバイスとクラウド間の通信を強固に秘匿化。より安心なシステムを構築可能。

Ubiquitous QuickBoot 対応プラットフォーム拡充

■ 対応プラットフォームを追加、適用機器の対象拡大で拡販を強化

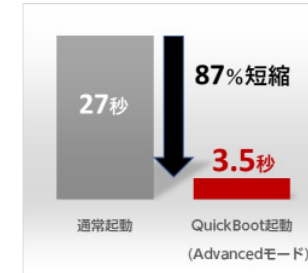
ー 追加プラットフォーム

- x86アーキテクチャ インテル® Apollo Lake プロセッサ
- インテル®Cyclone® V SoC(マクニカ社製 Mpression Sodja Cyclone® V SoC評価ボードをサポート)

ー 対応によるメリット・期待値

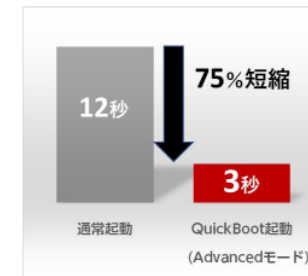
- 車載機器、複合機、POS、医療機器、FA機器、計測機器、キオスク端末、サイネージ機器、その他IoT機器など、広範囲な組み込み機器でインテル社プロセッサが導入されており、QuickBootが適用できる機器の範囲が拡大

■ベンチマーク：通常起動とQuickBoot R2.0 x86版を適用した場合のQuickBoot起動



評価環境1

AAEON UP Squaredボード
インテル® Pentium® N4200 Quad Core 最大2.5GHz
DRAM: 8GB LPDDR4
Storage: eMMC (rootfsおよびSnapshot Imageを格納)
OS: Ubuntu 16.04
画面出力: HDMI
Snapshot Image Size
圧縮後371MB / 圧縮前 950MB (圧縮率39%)
通常起動: 27秒
QuickBoot起動 (Advancedモード) : 3.5秒

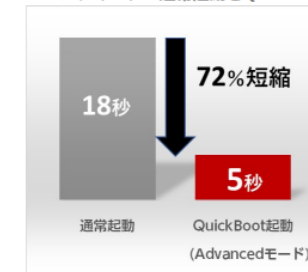


評価環境2

インテル® Compute Card CD1C64GK
インテル® Celeron® プロセッサ N3450 最大2.2GHz
DRAM: 4GB LPDDR3
Storage: eMMC (rootfsおよびSnapshot Imageを格納)
OS: Automotive Grade Linux 5.0 (EE)
画面出力: HDMI
Snapshot Image Size
圧縮後226MB / 圧縮前 695MB (圧縮率33%)
通常起動: 12秒
QuickBoot起動 (Advancedモード) : 3秒

※ 起動時間は、いずれもBIOS終了から画面出力されるまでをストップウォッチで計測

■ベンチマーク：通常起動とQuickBoot R2.0 を適用した場合のQuickBoot起動



評価環境

マクニカ社製Mpression Sodja Cyclone® V SoC
評価ボードCyclone® V ST SoC (Dual ARM® Cortex®-A9搭載)
DRAM: 1GB DDR3
Storage: SDカード (rootfsおよびSnapshot Imageを格納)
OS: Ubuntu 14.04
画面出力: DVI
Snapshot Image Size :
圧縮後59.6MB / 圧縮前 138.6MB (圧縮率43%)
通常起動: 18秒
QuickBoot起動 (Advancedモード) : 5秒

※ 起動時間は、電源ONからコマンド実行可能な状態まで。ブートローダーu-boot処理時間 約2秒を含みます。

みます。

村田製作所様との省電力対応高速無線接続デモ

■ 高速接続無線LAN技術+Linux高速起動 共同開発デモ

- 監視カメラなどの省電力環境での起動高速化と無線通信の高速接続ニーズに対応
 - 常時電源オンの省電力人感センサの反応により、高速で監視カメラシステムを起動/撮影し、高速無線通信で画像を送信
=> 必要な時に必要な機能をオンすることにより
省電力対応を実現
- 村田製作所製高速接続対応 (IEEE802.11ai) 無線モジュール(TYPE-ZP)をNXP社製i.MX7ボードに実装
- Ubiquitous社製QuickBootでLinuxと11ai対応のWi-Fiドライバを高速起動

- 2018年5月のIoT/M2M展に出展

高速OS起動 x 高速Wi-Fi接続 統合ソリューション Fast OS Boot x Wi-Fi Link Solution

ユビキタスの高速OS起動ソリューションQuickBoot x ムラタWi-FiモジュールによるIEEE802.11aiで...

ユーザーを
待たせない

11aiで必要な時だけ
パッとつながる

電源OFFできるから
待機電力ゼロ

デモ概要 Demo overview

超低消費電力監視カメラ

① 監視カメラは、電源OFF状態。センサーのみON

通常状態はMPUの電源はOFFにし、PMIC及びセンサーのみON状態にすることにより、消費電力を極限まで削減

② センサーが異常を検知し、監視カメラ起動

センサーが異常を検知したら、MPUの電源をONし、QuickBootによりカメラアプリが約2秒間で高速起動し、撮影開始

③ Wi-Fiネットワークに高速接続

Wi-Fi STAモードで動作するモジュールがIEEE802.11ai規格によりアクセスポイントに100msecという短時間で高速に接続

④ 高画質の画像/動画を短時間でサーバに転送

Wi-Fiの広帯域データ通信(200Mbps)により、高画質の画像を短時間でサーバに転送

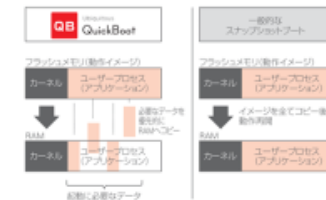
⑤ ユーザーのスマホにアラーム通知

ユーザーのスマホに異常を検知したアラーム通知

製品 Products

Ubiquitous QuickBoot

- Linux / Android をわずか数秒からで瞬間起動しアプリケーション実行状態へ復元可能な新技術



Murata Type-1PJ (Under Development)

- 新規規格IEEE802.11ai対応Wi-Fi/BTコンボモジュール

Part Number	
MP P/N	LBEE52Z1PJ-164
Chipset	
WLAN	Qualcomm QCA9377-3
Features	
WLAN	IEEE802.11a/b/g/n/ac
BT ver.	4.2
Interface	SDIO3.0 (WLAN) & UART/PCM (BT)
Dimensions (mm)	T.B.D.
Shield/Mold	Shielded Resin
Operating Temp. (°C)	-40 ~ +85 °C

muRata

Appendix

2019年3月期 第1四半期 開示一覧

発表日		プレスリリース
第1四半期	4月24日	■ ユビキタス社、村田製作所のArm® Mbed™環境でのWi-Fi機能実装に協力
	4月24日	■ ユビキタス社、ルネサス エレクトロニクス社のセキュリティ機能搭載マイコンRX65N対応のセキュアIoT機器開発キットを発売 ～Trusted Secure IPへの対応で、IoT機器内にある重要情報のセキュアな管理を実現～
	4月25日	■ ユビキタス・AIコーポレーション グループ、ComboConnectのIoT機器向けFirewall対応版を販売開始 ～Icon Labs社のFloodgate FirewallをComboConnectに搭載、IoTのエンドポイントセキュリティ強化を実現～
	4月26日	■ ユビキタス社、Linux/Android高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」をx86アーキテクチャ Apollo Lakeに対応
	5月7日	■ ユビキタス社、Linux/Android高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」をインテル®Cyclone® V SoCに対応 ～マクニカ社製Mpression Sodia Cyclone® V SoC評価ボードのサポートを開始～
	5月8日	■ ユビキタス社の「Ubiquitous Wi-SMART」がローム社製通信モジュールとの組み合わせでWi-SUN HANの認証を取得
	6月15日	■ ユビキタス社とエーアイコーポレーション社が合併 組込みソフトウェアNo.1ベンダーを目指し、社名とロゴを刷新 ～2018年7月1日より「株式会社ユビキタスAIコーポレーション」に社名変更～
第2四半期 (参考)	7月6日	■ ユビキタスAIコーポレーションの「Ubiquitous TPM Security」、約24億台の機器が利用するセキュリティ国際規格の最新仕様 TPM 2.0に対応 ～自動車、OA機器、産業機器の暗号対応を支援～

Connecting the Future



Ubiquitous AI Corporation

株式会社ユビキタスAIコーポレーション

本社	: 新宿区西新宿1-21-1 明宝ビル6F
五反田事業所	: 品川区西五反田2-25-2 飯嶋ビル
大阪営業所	: 大阪市淀川区西中島6-2-3 1205
名古屋営業所	: 名古屋市中区栄5-19-31 T&Mビル 3F-F

sales@ubiquitous-ai.com <https://www.ubiquitous-ai.com>